

「輪之内町情報モラル宣言」に係る児童生徒合同会議

輪之内町では、児童生徒の情報モラルに関わる実践力を高めることを目的に、昨年度「輪之内町情報モラル宣言」を策定しました。

夏休み後に各校でアンケートを行い、スマホの使い方や使用時間などについて、宣言が守られているかを確認しました。アンケート結果をもとに、各校でよく守られている点や課題を明らかにしました。

今後の児童生徒の主体的な参画を促すため、小中合同会議を開催し、各校の実態を交流しました。

1. 日 時 平成30年11月13日（火）15:50～16:30

2. 場 所 輪之内町図書館 2階

3. 内 容 <司会進行 輪之内中学校>

(1) はじめの言葉 輪之内中学校

(2) 自己紹介（書面にて）

(3) 討議（「輪之内町情報モラル宣言」現状と今後について）

①「輪之内町情報モラル宣言」の現状と今後の課題について交流

・輪之内中学校・福東小学校・仁木小学校・大藪小学校

・活用アンケート結果等をもとに（各校5分）

②諸連絡（今後の予定について）

(4) 生徒代表の話 輪之内中学校

(5) 輪之内町PTA会長代表の話 森島 鉄雄 様

(6) 校長先生の話 福東小学校 増田 浩志 校長先生

(7) おわりの言葉 輪之内中学校



共通の課題は、パソコンやスマホ、ケータイ、通信型ゲーム機の使用時間を守ること（小学生は夜9時まで。中学生は夜10時まで。）と、家庭での約束を決めることです。家庭での約束を決めていないのは、中学生の場合で4人に1人です。まずは家庭での約束を話し合い、保護者の指導の下で使用させることが保護者として必要なことです。

各校の交流をもとに、全校への掲示や放送を通じて呼びかけを強化する取組や、親子の会話を大切にするために学校であった出来事を家で2つ以上話そう、という取組が提案されました。

今後は、各校の実態が向上するよう取組を行って改善が図られるよう、各校での取り組みが行われます。次回の合同会議で向上したことを報告できるようにしていきます。